

ひます、それがために腸胃をいためたりすること
 はあまりめづらしくない事です、菓子によらず食
 物と名のつくものは、適當なる種類の物品を以て
 之に供し、適度な分量を守つて之を用ゐ、適切
 なる時間に於いて與へないからです、身体の成長
 を計る所以の方策と成れるものは重に飲食に供給
 する品物でありますから、よほど注意が肝要と存
 じます。(未完)

武田錦子君の女子教育談

先月十七日、東京市教育會議演會の席上、武田錦子女史の演説
 の中、女子の學校教育に關する一節は、殊に興味深ければ左に
 紹介することに致しました。

『いまの女子を教育しやうとする父母達は、其の
 兒の學問知識の發達することを望まないで、學校
 を卒業したといふ證書がほしさに一生懸命である

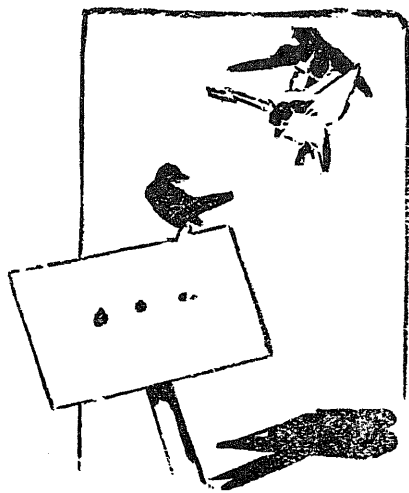
現に、澤山の女生徒の中には、どうも成績のよく
 ないものがあります、これは勉強が足らない特に
 家庭にての復習が不十分であると思ふのでわざ
 〳この旨を傳へて、親達に注意をうながします
 と、其返事はまことに意外千萬で、『自分の娘は、
 何も學問が上達しなくともよるしい、どうか斯う
 か卒業免狀さへとれるなら結構でゐます』とす
 げなく言ひきるので真に意外に思ひます、がこれ
 は元來親達が娘を學校にやる目的が誤つて居る故
 であります。

如何いふ目的で女兒を學校に通はすかといふ、嫁
 入の看板をふやしたいためであります、今日では
 だんぐと教育ある女兒を嫁にえらぶものが多く
 なつたので、縁談のことについて女兒をさがすも
 のは、大概は學校卒業の有無を訊ねます。だから

親達は女兒をかたづけくる道具として、高等女學校の卒業證書を欲し、それで女兒を學校に通はします、だから學問が出来なくても、技藝が下手でもそんなとはお構ひなし、たい何と加して試験に及第し、卒業證書をもらへば他に用はないのであります、このやうな考をもつた親達に、女兒の家庭教育が出来ないのは無理のないことで、女子教育の効果があがらないのも無理ではありません。女子教育の主眼は、獨立の出来る女子を養成すること、教育をうくる女子も、この覺悟をもつて學校にのぼらねばなりません、獨立するといひましても、是非に獨立して生計をたてよといふのではないので、獨立してゆけるだけの教育をうけておいて、そして後に妻となり母となつて、はじめて立派な文明的な婦人となり、幸福な安穩な生活を

かくることが出来ます、若しもこの獨立するだけの教育がないときには、萬事を夫に依頼せねばなりません、それで夫がいつまでも依頼される、かといふと、必ずさうはまいりません、如何なる不運によつて寡婦とならねばならぬか、これも計らないのであります若し不幸にしてかゝるときがあつたならば、獨立することの出来ないものは如何になりますか、財産でも澤山あればよいかも知れませんがそれも、皆なみな左様はまいりません。この度びの戦争には、若いお仁が名譽の戦死をなされますので、まだ年齢もゆかない未亡人が澤山出来ます、まことに氣の毒なことであります、そして彼様なお仁のうちで、如何して此後を生活してよいか、と訊きに來たのも随分多くあります、これらを見ましても女子に獨立するだけの教育を

うけさしておくとは必用であります、戰場にひか
はるゝ軍人も、自分が戦死したときは、残る妻が
獨立して遺子を育て、ゆくことが出来ること承知し
て居れば、その勇氣は一層ますますであらうと思ひま
す。



左の唱歌一篇は別項記載の附屬高等女學校運動會の
折合唄せるものなり

傷病兵士慰藉の歌

第一節

國のためとて

銃の煙りと

しのぎて得つる

われ等少女は

感謝をいがか

家をば離れ

彈丸の雨を

君がなやみ

心にあまれる

あらはし得べき

第二節

君が勅を

劍まがりて

正義を楯に

君が勲は

千代に八千代に

かしてみまつり

血汐飛ぶも

進みし君よ

歴史を飾りて

世を照らさむ